

小学校 5年

エキサイト 2025 5年万博 狭山パビリオンを成功させよう

大阪狭山市立東小学校

教科

国語

単元名

地域の魅力を伝えよう

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章の構成や展開を考えている。
- ・自分で伝えたいことを見つけ、よりよく伝えるようにするには、どうすればよいか考えることができる。
- ・友だちの発表の内容や、方法の良さに気づくとともに、アドバイスをすることができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・さまざまな資料、データから読み取った複数の情報をもとに、自分で考えを構築する力。

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

A-STEP 3, D-STEP 3

F-STEP 3, G-STEP 3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全 10 時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	・学習計画を知る。 ・ルーブリックをつくる。
第2次 (8時間)	・教科書をもとに筋道の通った文章の書き方を知る。 開会式 (パビリオンのメインキャラクターを決める) ・クラスで伝えられそうなテーマ (大阪狭山市に関連する場所、店、食べ物、行事など) について話し合い共有する。 ・自分の伝えたいテーマのパビリオンについて考える。(☆) ・自分の伝えたいテーマについて調べ、発表の形態を考えまとめる。(プレゼン・新聞・掲示・タブレット使用など個人で考える) (☆) ・班でプレ発表し、推敲する。「すいこうポイント」(すっきり いみがとおる こうかてきで うまいひょうげん) (本時) ・発表の練習をする。 ・パビリオン発表。
第3次 (1時間)	閉会式 ・パビリオンについてふりかえる。 ・友だちのパビリオンで気づいたことわかったことをまとめる。

本時のねらい

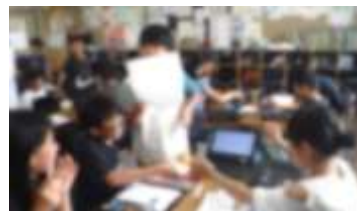
- ・友だちの発表を聞いてよりよく伝わったという実感を得るためにはどのようにしたらよいか、「すいこうポイント」をもとにアドバイスをする。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前回の学びのふりかえり ・ルーブリックの確認をする。 ・自分で発表するものを確認する。	・学習のゴール (誰に何を伝えるのか) と活動の意味を意識する。
展開 (35分)	2. 情報の収集 ・自分のパビリオンの発表をする。 ・友だちに伝わったという実感を得られるような工夫をアドバイスする。 3. 整理・分析 ・友だちからのアドバイスをもとに発表原稿を推敲する。	・班で交流することを伝える。 「すいこうポイント」を確認する。 ・目的や意図にあった内容になっているか考える。 ・グラフや図表を入れたり写真を入れたりすることができているか考える。 ・文章の構成があっているか確認する。 ・聞き手に伝わりやすい内容になっているかを推敲し合う。
まとめ (5分)	4. ふりかえり (次回へむけてのシェアタイム含む)	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・パビリオンを作るというめあてを設定したことにより、自分だけが知っていること、自分だけが調べたことを友だちに伝えたい、教えたいという意欲が高まった。
- ・筋道立てた文章の書き方を学習することで、推敲することにも興味をもって取り組んでいた。
- ・アドバイスしてもらって嬉しいという声も聞かれた。よりよく伝えるための工夫をみんなで考えることができた。



自分が考えたパビリオンを発表している場面